

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです！

2026年9月6日

NO.376

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

環境福祉委員会他都市調査

民泊規制について・神戸市
病院経営改善・加古川市

ごみ固形燃料化・三豊市
北九州エコタウンセンター

条例制定
当初から「〇日規制」

京都市内では急増する家主不在型の民泊をめぐり、騒音やゴミ出しなど近隣トラブルが絶えません。

神戸市では、観光振興だけでなく、市民の生活環境に十分な配慮が必要だと、当初から第一種又は第二種の住居専用地域や、学校、認定こども園、児童福祉施設の敷地から100メートルの範囲を当初から「〇日規制」（民泊事業の営業日数を〇日制限し、事実上の営業禁止）を実施しています。京都市は「〇日規制」など住宅宿泊事業法を超える規制は「国から指導を受ける」「事業者から訴えられる」と繰り返し回答し事業の制限に後ろ向きでした。神戸市の視察では「〇日規制」について「国からの指導も、事業者からの訴えも一切ありません」と仰っていました。日本共産党京都市会議員団は「民泊」の規制強化の条例提案を9月市会に提案します。

600床34診療科
黒字公立病院

2011年4月、加古川市民病院（405床）と神

鋼加古川病院（198床）が統合し、地方独立行政法人加古川市民病院機構が設立され、その後、2016年7月1日、加古川中央市民病院が開院しました。地域の急性期の拠点としての役割を果たし、地域の医療機関や訪問看護ステーション、介護施設などとの連携も強化し診療機能の充実が図られています。



加古川中央市民病院
へリポート

燃やせるごみ
燃やさず資源化

平成29年4月から、三豊市（香川県）は、家庭や事業所から出る燃やせるごみを発酵・乾燥させて「固形燃料」の原料としてリサイクルしています。

ごみ収集車（パッカー車）

で受け入れたごみは、破砕機で破砕され、破砕後は混合機に送られ一度発酵した大きな木くずを混ぜ、発酵の下準備を行います。センサーやコンピューター制御により微生物が活動しやすい環境が整った発酵槽で17日間、発酵・乾燥処理が行われます。

三種選別機で①生ごみが分解された細かいもの②木くずのような大きいもの③紙やプラスチックなど比較的軽いものに分けられます。選別された紙やプラスチックは、燃えにくく、燃やすと有毒ガスが発生する塩化ビニールを赤外線で見別しエア噴射で分離します。

塩化ビニール選別を通過したものを圧縮梱包し、固形燃料工場へ出荷し石炭代替え燃料にして活用します。



圧縮梱包されたごみ

第236回くらしのなんでも相談会

暮らしにかかわることなんでも、一人で悩まずお越しください。

秘密厳守、相談無料です。

日時 9月13日（土）午後1時半から3時

会場 安井後援会事務所（安井小学校前）

主催 日本共産党市会議員山田こうじ事務所

連絡先 佐々木義人 801-9379



北九州響灘洋上風力発電

エコタウン事業

1901年、官営八幡製鉄所が創業し、北九州工業地帯は4大工業地帯として高度成長を支えました。その一方で、1960年代、深刻な産業公害をもたらしました。北九州市は、公害克服の過程で培った技術を生かし、総合環境コンピナート・響リサイクル団地等は国際的にも、環境改善モデルとして高く評価されています。

まいとおおきに

山田こうじです！

NO.362

都市計画道路葛野西通り、全長3.3kmのうち葛野大路から月読橋間の約760mの区間が未整備となっています。

長年の「すみよい西京極をつくる会」の「安心して歩ける七条通りを」の署名やアンケート調査、交通量調査等の取り組みもあり、2016年3月市会において、「拡幅整備及び当面の安全対策を求める」請願が全会派一致で採択され、拡幅に向けた予算が計上されました。コロナ禍の「行財政改革計画」により凍結されていましたが、2024年度、工事認可に向けた調査費500万円が計上され、交通量調査・調査の形状についての調査を2年間かけて行い、とうとう、工事認可に向けた道路予備設計等業務委託（葛野西通）の入札が実施され1千5百万円が落札され拡幅工事へ大きな前進となりました。長年の取り組みの成果です。引き続き住みよいまちづくり力合わせます。